

教育だより

# きらめく人づくり

第36号

平成28年12月

編集発行 佐賀県教育委員会

〒840-8570

佐賀市城内一丁目1番59号

☎0952(25)7398

## 「さがを誇りに思う教育」を推進しています

県教育委員会では、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、ふるさと佐賀への愛着と理解を深め、そのよさを実感し、誇りに思う気持ちを育てるために、佐賀の自然や歴史、文化等を学び、それらに親しむ体験活動を推進しており、昨年に続き、今年も高島、小川島、馬渡島、加唐島のそれぞれの島を舞台に「子ども離島交流事業」を実施しました。

各島の子どもたちは、島の説明を子どもたちだけで行うなど、昨年以上に自信をもって積極的に取り組み、参加した島外の子とも、その声に熱心に耳を傾けていました。

離島に行って  
佐賀のよさに  
ふれまSHOW!!

### 「子ども離島交流事業」の様子を紹介します!

宝当神社で有名な高島。高島小学校のみんなが、島の名所や学校についてクイズ形式で紹介してくれました。その後は、講師の先生に教えてもらいながら、海の生き物の絵を描き、大きな絵を完成させることができました。午後は海水浴。一緒に泳いだり、ビーチボールで遊んだり、スイカ割りしたりと楽しい交流でした。

【参加者の感想】友だちを多く作れ、島の案内もよくて、また高島に行きたいなと思いました。

【保護者の感想】高島での体験を楽しそうに話してくれました。



高島

7月23日(金)

### 小川島



8月21日(日)

「鯨とイカの島」小川島。午前中は、たつぷり釣り体験。お昼においしい魚介類をいただいた後、一緒に磯散策をしました。また、小川小中学校のみんなが、島や学校について紹介してくれました。あつという間の楽しい時間でした。

【参加者の感想】知らなかった小川島のことがわかったので、いい経験になりました。

【保護者の感想】友達と応募して、自分だけ当選した時は、どうなるかと思いましたが、とても楽しかったようでした。

佐賀県の島では一番大きい馬渡島。馬渡小中学校のみんなが、島と学校を紹介してくれた後は、ボールの代わりにフリスビーを使ったドッジボールのドッジビー。楽しく活動できました。午後は、釣り体験と魚のさばき方教室で交流しました。馬渡小中学校の子ともたちの心を込めた合唱は、とても感動的でした。

【参加者の感想】いろんな経験や初めて会った人と交流できて楽しかった。自分でできる事が増えたと思いました。

【保護者の感想】初めて魚をさばき、楽しみを覚えたようです。



馬渡島

8月26日(金)

### 加唐島



10月22日(土)

豊富な海産物と武寧王<sup>ぶねいおう</sup>生誕の地で有名な加唐島。午前中は、釣り体験と魚のさばき方教室。漁師さんたちに教えてもらいました。魚の塩焼きをいただいた後は、加唐島と松島、学校について、加唐小中学校のみんなが紹介してくれました。島外の子ともたちも、自分の学校を紹介しました。質問もたくさん出て、楽しい交流となりました。

【参加者の感想】魚釣りや魚をさばくことは普段しないので、いい体験ができた。

【保護者の感想】家でも魚をさばいてくれるそうで、楽しみにしています。

詳しくは

県学校教育課



0952(25)7395



FAX 0952(25)7286



gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

## 「2019さが総文」が開催されます

本県では、平成31年7月から8月にかけて、第43回全国高等学校総合文化祭(全国高総文祭)佐賀大会が開催されます。県教育委員会では、高校生の創造活動の向上や相互交流を深める大会となるよう各種準備を進めています。

### 「全国高総文祭」とは

昭和52年から開催されている全国の高校生による国内最大規模の文化の祭典であり、全国の高校生が一堂に集まり、文化芸術活動の向上や生徒相互の交流を深めることを目的としています。

全国高総文祭では、開会行事として総合開会式及びパレードが行われ、その中で国際交流として海外(2~3か国)の高校生を招聘し、開会行事に参加していただいています。

開催部門については、規定19部門と開催県が独自で設定する協賛部門があり、例年、約2万人の高校生が参加します。



平成28年度広島大会 総合開会式

### 規定19部門

演劇
合唱
吹奏楽
器楽・管弦楽
日本音楽
吟詠剣詩舞
郷土芸能
マーチングバンド・バントワリング
美術・工芸
書道
写真
放送
囲碁
将棋
弁論
小倉百人一首かるた
新聞
文芸
自然科学

### 先催県での様子



日本音楽



吟詠剣詩舞



小倉百人一首かるた



郷土芸能



大会テーマが  
決定しました

今年の夏、大会テーマを募集しましたが、県内の中学生、高校生から3,052点の応募があり、厳正なる選考の結果、武雄高校1年の一ノ瀬友樹さんの作品が大会テーマとして決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

大会テーマ「創造の羽を広げ、蒼天へ舞え バルーンの如く」

【制作者の声】

生徒がそれぞれの文化芸術活動に一生懸命取り組んでいる姿を創造の羽を広げているさまにたとえ、佐賀のバルーンのようにそれぞれの個性が活かされ、青空に舞うようにという願いを込めて表現しました。

現在、全国高総文祭に向けて、大会テーマ毛筆表現、マスコットキャラクター(デザイン)、ポスター原画、イメージソング(歌詞)を募集しています。

また、今後は、マスコットキャラクター(愛称)、イメージソング(楽曲)の募集も予定していますので、中学生、高校生の皆さん、奮ってご応募ください。たくさんのご応募お待ちしております。

募集しています

募集期間

- 大会テーマ毛筆表現 : 平成28年10月26日～平成28年12月22日
- マスコットキャラクター : 平成28年10月26日～平成29年1月10日  
(デザイン)
- ポスター原画 : 平成28年10月26日～平成29年1月10日
- イメージソング(歌詞) : 平成28年10月26日～平成29年1月10日

佐賀県高等学校総合文化祭が開催されました

9月22日から11月13日までの期間、「これがわたしたちの青春」という大会テーマのもと、第28回佐賀県高等学校総合文化祭(県総文祭)として「演劇」や「吹奏楽」などのステージ発表、「美術・工芸」や「写真」などの展示、「囲碁」や「将棋」、「小倉百人一首かるた」などの競技会が県内各地で開催されました。

10月4日佐賀市文化会館で開催された総合開会式では、生徒実行委員長の松本 利幸(佐賀北高校2年)さんが「青春とは、私たちが芸術文化に向き合った時間そのもの。この総文祭を機会に、佐賀県の高校生が交流を深め、芸術文化がさらに発展することを願う。」との思いが力強く語られました。



嬉野高校和太鼓部による活動発表



総合開会式における生徒実行委員長あいさつ

詳しくは

県学校教育課 ☎0952(25)7462 FAX0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

## 不登校児童生徒の学校復帰の取組を支援しています

県教育委員会では、子どもたちが不登校にならないような魅力ある学校づくりはもちろんのこと、不登校になっている子どもが安心して学校に来ることができるよう、専任の担当職員や「スクールカウンセラー」、「スクールソーシャルワーカー」といった専門家を学校などに配置し、不登校の子どもたちの学校復帰へ向けた学校の取組を支援しています。今年度は「訪問支援員」をご家庭に派遣するなど、学校復帰へ向けた支援を強化しましたので気軽にご相談ください。

### 子どもたちや保護者の方の相談に応じます「スクールカウンセラー」

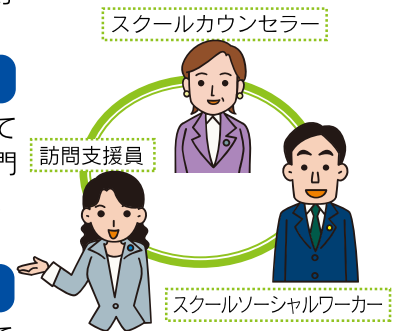
「最近、学校に行きたがらない」、「朝になると具合が悪くなり欠席してしまう」などの悩みを抱えている子どもたちやその保護者の方に対しては、臨床心理士等の資格を持ったスクールカウンセラーが親身になって相談に応じます。

### ご家庭での悩みに対応します「スクールソーシャルワーカー」

お子さんが学校に行けなくなり、生活が不規則になったりして「どこに相談していいかわからない」などの悩みを抱えている保護者の方には、社会福祉等の専門的な知識を持つ経験豊富なスクールソーシャルワーカーがご家庭まで出向き、福祉等の関係機関などと連携しながらご家庭の悩みの解決を支援します。

### 支援員がご家庭を訪問して支援します「訪問支援員」

自宅からなかなか一歩を踏み出すことができない不登校の子どもたちに対しては、経験豊富な訪問支援員が、お兄さん、お姉さんのような存在として、同じ時間を過ごしなが一人一人の状況に応じたカウンセリングや学習支援を行い、学校へ復帰できるよう段階的に支援します。



相談や支援を希望される方は、各学校までご連絡ください。

詳しくは 県学校教育課 ☎0952(25)7363 FAX 0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

## 地域産業を担う人材の育成に取り組んでいます

### 佐賀県高校生産業教育フェアを開催しました

「今と未来をつなぐ産業教育フェア」のキャッチフレーズのもと、「佐賀県高校生産業教育フェア」を8月27日、28日の2日間、SAGAものスゴフェスタとあわせて開催しました。

会場の佐賀県総合体育館には延べ9,600人の来場があり、工業・農業・商業・家庭・福祉・看護を学ぶ専門高校生等が展示や実演を通して、日頃の学習成果と産業教育の魅力を発信しました。小・中学生を含めた多くの県民に産業教育についての理解を深めてもらう良い機会になりました。



ものづくり体験(工業)



フラワーアレンジメント教室(農業)



バーチャルリアリティ体験(商業)



調理技術紹介(家庭)



介護技術コンテスト(福祉)



健康診断(看護)

詳しくは 県学校教育課 ☎0952(25)7228 FAX 0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp



## ICTの活用教育に取り組んでいます

県教育委員会では、一人ひとりの個性や能力に応じたわかりやすい授業を実施し、情報活用能力やコミュニケーション能力の向上等につなげることを目的に、全県規模でICT活用教育に取り組んでいます。

平成26年度からは、県立高校全校で、電子黒板と一人1台個人所有の学習用パソコンを使用した教育を進めており、ここでは、学習用パソコンの活用事例について紹介します。

### 学習用パソコンの活用事例

英語の授業では、学習用パソコンで画像を見せながらスピーチを行ったり、単語の発音を確認する等、学習用パソコンや電子黒板などICTを効果的に活用して、「見る」「聞く」「話す」「書く」の英語の4技能を高める工夫をしています。



画像を使用したスピーチの様子

農業高校では、作物の生育調査の際に生長データの保存、グラフ化による分析、成果のまとめ、グループ学習等で学習用パソコンを活用しています。

また、発見した虫や病気を学習用パソコンで撮影し、教室や自宅に戻ってその名前や生態・病態を調べ防除策を考える等、学習用パソコンを科学的思考力や課題解決能力の育成にも役立てています。



グループ学習の様子



生長データ収集の様子

自宅学習でも学習用パソコンは活用されます。

問題の答え合わせが即時にでき、解説も読むことができるので理解が深まります。

また、分からない言葉があれば、学習用パソコンの辞書を使って調べたり、英語の学習では音声を聞いて、発音の練習をすることができます。

終わった宿題は学習用パソコンを使って教師に提出することもできます。



自宅学習画面（英語）



自宅学習の様子

工業学校では、木工加工の作業工程を学ぶ際に、動画を活用しています。教師が作業工程を撮影し、その動画を生徒の学習用パソコンに配布しています。

授業では、生徒が手元にある学習用パソコンを見ながら練習することができ、また、自宅でも学習用パソコンを使って、繰り返し作業手順を確認することができます。



木工加工の作業工程動画の一場面



佐賀県で取り組むICT活用教育の取組状況等の詳細については、[佐賀県教育委員会ホームページ](#)をご覧ください。

佐賀県 ICT 教育

県教育委員会では、今後も引き続き、児童、生徒や保護者、県民の皆さんのご意見を広く伺いながら、よりよい教育の実現に向けて、ICT活用教育に取り組んでいきます。

詳しくは 県学校教育課 ☎0952(25)7222 FAX 0952(25)7067 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

## 外国語を学びたい生徒を応援しています！

グローバル化が加速する中で、豊かな語学力や異文化体験を有する人材の育成が求められています。

県教育委員会では、中・高校生を対象に、留学や海外研修旅行、県内英語合宿など様々な支援を行っていますが、その中から、今回、県の助成を受けて海外留学、海外研修、県主催のアメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー、英会話・国際理解合宿セミナーを体験してきた生徒の声を紹介します。

新納 忠義さん 武雄高校3年   
留学先:アメリカ 2015年8月～2016年7月

一年間の留学生活で、様々な経験をしました。

学校では勉強以外にアメリカらしいイベントがありました。特に、ホームカミングや、プロムというフォーマルなダンスパーティーは、とても楽しくていい思い出になりました。卒業式にも参加しました。ホストファミリーとの生活は、日本にいた時よりものびのびできて楽しかったです。

留学期間中は様々な国から来た留学生との交流もあり、交流はとても楽しかったです。

英語はまだまだ勉強が必要だと感じており、もっと頑張らなければいけません、コミュニケーションは以前より上手く取れるようになりました。

この経験を生かして、もっと英語を上達させて、海外でも自分の仕事ができるようになりたいです。私は将来、会社の経営をしたいと考えていますので、海外の人とともに働く機会がある時に英語で話そうできるように頑張るつもりです。



樋口 綾華さん 唐津東高校1年   
留学先:アメリカ 2015年7月～2016年6月

私は留学を通して何事も自分から行動することの大切さを学びました。

アメリカに行つてすぐの頃は、言葉が理解できずに困った時や何か嫌だなと思った時でも、相手が気づいてくれるのを待っていました。

日本では周りの人が察してくれることが多いのですが、海外では自分の言葉で伝えない限り誰も手助けをしません。しかしそれは、手を貸すことが人にとっていつも最善であるとは限らないからです。だからきちんと伝えれば本当によくしてくれました。留学も私が行きたいと伝えたことで、親や周りの人が協力をしてくれ実現しました。

私は以前から医者を目指しています。留学してからは、海外の貧しい国の人々を助けたいと思うようになりました。アメリカでは、普段から友達や家族と海外情勢や政治についてよく話し合っていて、私も関心が高まりました。授業で様々な国の事を学び、日本がどれだけ不自由のない国かを実感しました。私は留学を通して世界が近くなったような気がします。将来は海外で世界の人々と関わっていきたいと思っています。



長家 彩咲さん 香楠中学校3年   
研修先:マルタ共和国2016年7月～8月(1ヶ月)

マルタでの28日間を振り返ると、それはもう、夢のような貴重な経験の連続でした。今回の研修を通して自分自身が変わったと思うところが二つあります。

一つ目は、英語を聞き取ることへの苦手意識がなくなったということです。日本に帰ってきて、研修以前からよく聞いていた洋楽や、よく観ていた洋画の台詞を聞き直すと、研修以前よりも英語が明瞭に聞こえ、リスニングのスキルが向上していると感じました。

二つ目は、自分の意見を貫けるようになったということです。マルタでは、自分のことは自分で決めることが重視されており、常に自分自身のことを把握しておく必要がありました。そのため、マルタで生活するうちに、判断力や行動力がついたのだと思います。

私が今回の研修への参加を決めたとき、私は普通の学校生活に退屈し、窮屈に感じていました。「学校だけが世界じゃない。もっと違う世界を知りたい」そう思い、海外に行くことを決めました。結果的に、私は沢山の人の出会い、ヨーロッパの様々な国に良い友達ができ、自分自身の世界を広げることができました。





浅井 凱貴さん 伊万里中学校3年  
英会話・国際理解合宿セミナー  
2016年8月2日～3日（1泊2日）

僕がこのセミナーに参加したきっかけは、英語漬けの生活に興味があったからです。

最初は慣れない英語で、他の生徒さんたちと積極的に触れ合うことができませんでした。でも、徐々に慣れてきて、最後は皆で楽しく活動することができました。

「佐賀の魅力を発信！」は班ごとに分かれ、英語で文を作り、小道具を使ってどこの班の発表が一番良かったかを競います。僕の班は一致団結して佐賀の魅力を調べました。優勝はできませんでしたが、班の皆と力を合わせて、発表は大成功でした。

また、僕は英文を作るのが苦手なのですが、将来は英語の先生になりたいという夢があり、ALTの先生は相談ののってくれました。

僕はこのセミナーを通して、話す勇気や英単語力を身に付けました。この経験を生かして、町で困っている外国人や学校のALTの先生に話しかけたいと思います。

今後、色々な事に挑戦していこうと思います。



小柳 鈴華さん 有田中学校2年  
アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー  
2016年8月1日～8月14日（2週間）

“I don't know.”これは私の名前です。

初日の授業を受けたときのことで。アメリカに来たばかりの私は、“What is your name?”というアメリカ人の先生の簡単な質問が分からず、緊張からパニックになってしまい、“I don't know.”と答えてしまいました。そのため、その日は一日中、“I don't know.”と呼ばれていました。今思えばいい思い出です。

それからは、授業を受けるにつれて、質問されていることや、どういうふうに文を書けばいいのか徐々に分かってきました。

しかし、やはり自分が伝えたいことを伝えきれない時がありました。そのときは、笑顔とジェスチャーで会話をするようにしました。ジェスチャーで会話をする時は、ホストマザーも笑いながら見てくれました。

この研修で苦労したこともありましたが、最終日になるにつれて英語がうまくなるのが嬉しかったです。また機会があったら行きたいです。



佐賀県グローバル人材育成事業を  
紹介します

佐賀県中・高校生海外留学等助成金制度(28年度)

中・高校生の研修旅行と高校生の海外留学に必要な経費の一部を助成します。

◆中・高校生の研修旅行10万円  
(研修期間が2週間以上3ヶ月未満)  
研修費用の自己負担が10万円以上のもの

◆高校生の海外留学50万円  
(留学期間が3ヶ月以上)  
※いずれの場合も保護者が佐賀県内に居住していること

アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー

◆県内の中・高校生を対象に、アメリカでの英語レッスン、現地企業訪問、ホームステイなどを体験します。(実施時期 8月)

Facebookで海外留学、研修などの情報を発信中!

<http://www.facebook.com/saga.global.jinzai>

英会話・国際理解合宿セミナー

◆中・高校生を対象にネイティブスピーカーのコーチや留学生と一緒に、1泊2日の英語集中合宿を行います。(実施時期 8月)

佐賀県中高生留学ガイダンス

◆海外留学を経験した先輩たちの体験発表や、海外留学を専門に取り扱う旅行業者、留学者、留学団体などのブースを設けて、海外留学についての情報を収集できる場を提供します。(実施時期 12月)

## 新しく指定された県内の文化財を紹介します

こちらは、平成27年11月から平成28年10月の間に国や佐賀県が指定等を行った文化財です。  
これらの文化財は、佐賀県の歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた私たちの貴重な財産です。

国史跡	国登録文化財	佐賀県史跡
 <p>ひがしみやう ■東名遺跡 【所有:国】</p>	 <p>ほんや ■JR 唐津線小城駅本屋 【所有:小城市】</p>	 <p>くりそうずい ■久里双水古墳 【所有:唐津市】</p>
<p>佐賀市金立町千布に位置し、居住域と墓域、6か所の貝塚、155基の貯蔵穴群で構成される縄文時代早期末葉（8,000年～7,400年前）の遺跡です。貝塚からは幾何学的な文様の骨角製品が多く出土し、貯蔵穴群からは、国内最古の「編みかご」が、700点以上出土するなど当時の生活の様子をよく伝えています。</p>	<p>唐津線の全線開通に伴い明治36年（1903）に開業し、平成26年度の改修工事により当初の規模に戻された、木造平屋建て、外壁が白漆喰仕上げの駅舎です。 日本の近代化に貢献した石炭産業を支え、小城市街の顔である現役の駅舎として開業当初の様相を良く留める重要な建物です。</p>	<p>県内で最古級（3世紀後半頃）の大型前方後円墳（全長約90m）です。 畿内地域を中心とした古墳文化が日本列島内の各地域へ波及する様相を示すものとして、学術上重要な意義をもっています。</p>
佐賀県重要文化財	佐賀県重要文化財（追加指定）	佐賀県重要有形民俗文化財
 <p>はなの ■花野 【所有:佐賀県】</p>	 <p>しちごんぜんくにしゅびやうぶ ■七言絶句二首屏風&lt;写真は右隻&gt; 【所有:佐賀県】 ※洪家伝来洪浩然関係資料（平成22年指定）に追加</p>	 <p>たじろばいやく ■田代売薬 関連の製薬・ 売薬・信仰 儀礼用具及び もんじょ つけたり 文書資料(附) みやげひん 売薬土産品 (行商用) 【所有:公益財団法人 中富記念財団】</p>
<p>日本近代洋画史におけるアカデミズムを代表する画家で、明治から昭和期に日本洋画界の中心的存在であった本県出身の岡田三郎助が、大正6年（1917）に描いた作品です。日本近代洋画史における裸体画受容の歴史をみる上で重要な位置付けをもち、また明治～大正期の日本の画家がフランスの画家ラファエル・コランから影響を受けたことを示す上で極めて貴重な作品です。</p>	<p>洪浩然は、文禄2年（1593）、文禄の役に際し、鍋島直茂の軍に捕らえられ、鍋島直茂・勝茂に仕え、書家あるいは側近として活躍しました。 本資料は高い評価を受けたその技量を直接的に示し、被擄人※洪浩然に関する資料、文禄・慶長の役や佐賀藩政に関する資料として極めて貴重なものです。 ※文禄・慶長の役の際に、日本へ連れてこられた朝鮮半島の人々。</p>	<p>「田代売薬」は、対馬藩田代領（現在の鳥栖市の東半部と基山町）で江戸時代中期頃から始められたとされる配置売薬業※です。配置売薬の始まりから衰退（昭和40年代頃）までの、田代で使用された道具や製品に関する3,000点を超える資料が、細かく系統立てられて収集されている大変貴重なものです。 ※客の家に薬を預け、使用分だけ代金をもらい不足した分を補充していく薬の販売方法。</p>

詳しくは 県文化財課 ☎0952(25)7232 FAX 0952(25)7321 ✉bunkazai@pref.saga.lg.jp

●「教育だより きらめく人づくり」では、皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしています。

あて先



佐賀県教育庁 教育総務課 危機管理・広報担当  
〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 ☎0952(25)7398 FAX0952(25)7281  
URL: <http://www.pref.saga.lg.jp> ✉kyouiku-soumu@pref.saga.lg.jp

※佐賀県教育委員会が収集した個人情報、「佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム」に従い、各事業の実施以外の目的で使用することはありません。